豊後　力議員

雇用対策について

問 経済不況の中、当地区における雇用対策としての、企業誘致はなされているのか伺う。

答 （町長）社会経済が冷え込んでいる中、大変厳しい状況にある。県の商工観光労働から観光誘致に移管する情報提供を受けながら進めている。今のところ具体的な情報は得ていないのが現状です。

内田の工業団地も今日、塩漬け状態で全く活用できず、負の遺産として有りますが取り付け道路だけは整備して誘致を募っていきたいと思う。

和水町第3セクターの収支について

問 肥後元気村の収支について伺う。

答 （町長）運営に関しましては、雇用創出、農産物の販売、そして、温泉を通じて住民の健康管理、町外からの人口交流、いろんな意味で町振興に関しましては非常に欠かせない重要な事業と考える。

収支の状況については担当より説明する。

答 （事業課長）平成21年度の決算については、交流センター5、487万4、000円、あばかん家3、017万6、000円、緑彩館1億445万2、000円、営業部門1、031万2、000円、その他367万5、000円合計2億349万2、000円でした。売上総利益は1億1、137万7、000円で、経常利益は54万7、000円となった。

平成22年4月から7月までの収支については、交流センター1、655万7、000円、あばかん家883万3、000円、緑彩館3、198万1、000円、営業部門658万4、000円、その他809万円、合計7、204万6、000円でした。売上総利益3、808万8、000円となり営業利益はマイナス452万4、000円となった。

問 7月末で450万円の赤字となっているがその原因について伺う。平成22年度事業計画では利益が出るように計画されているが如何か。

答 （副町長）一つの要因としてレストラン部門を委託から会社職員の営業に変更しましたが、大幅な収益減となっている。県の財政課からも指摘があっており、検討委員会等を立ち上げ改善するよう職員一丸となって取り組んでいく。

問 菊水ロマン館の収支について伺う。

答 （経済課長）平成21年度の決算については販売収入（物産）で2億1、613万3、000円、温泉1、579万3、000円、カヌー館外911万円、合計2億4、103万6、000円で売上総利益は、8、869万1、000円となり経常利益として551万となった。

平成22年4月から7月までの収支については販売収入（物産）は803万5、000円、温泉524万円、カヌー館外320万1、000円、合計8、647万6、000円、売上総利益3、094万6、000円で経常利益は421万円となりました。

問 菊水ロマン館については物産部門が好調と思う。収益も確保されているが、玄関口が非常に雑だなと感じた。テントも汚れ景観的にもどうかなと思う。

館内の売り場が非常に狭く感じるので、スペース配分を願いたい。

店外に3店舗独立した売り場があるが、長屋方式でそれぞれ行き来できるような作りが良いのでは。物産販売も入れる長屋もどうか。

答 （町長）ご指摘のように玄関にあっては、非常に整理整頓されてなく清潔感がないなと感じた。現場支配人に提言をしておく。

館外の売り場については手前から肉屋さん、パン屋さん、お茶屋さんと連なっている。お互いの相乗効果を表すには長屋方式が理に適っておると思う。農産物に関しても新しい発想の基、考えを現場へつないでおきたいと思う。

第一次産業（農業）への取り組みについて

問 高齢化が進む中、後継者不足による耕作放棄地や離農が進み、農業への意欲が薄れている。町としての取り組みを伺う。

答 （町長）農業後継者支援として20万円の支援金、更に認定農業者の方には農業機械等の購入に際しても支援補助をしている。和水町の農業、第一次産業を担っていただくための支援に関しては、組織整備もさることながら町内の方々が要望された事に関してもすべてに対策を講じるような努力をしていますし、遊休農地の活用につきましても、今後何らかの方策を見出していきたい思う。

のぼり旗を立て入込客の増に努める菊水ロマン館